

基本施策評価シート

基本施策最終評価
B

基本施策通し番号 4
 基本施策 福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催
 構成施策

施策番号	施策名	施策最終評価
施策1	福井しあわせ元気国体などの円滑な準備と運営	—
施策2	福井しあわせ元気国体などを契機とした取り組み	B

※国体終了につき評価対象外

成果指標

指 標	内 容	令和2年度 目標	令和元年度末 実績	単 位	令和元年度の成果の検証
	この基本施策に関連する成果指標は、ありません。				

後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

現 状	平成30年に福井しあわせ元気国体(自転車ロード・レース、相撲、カヌー・スラローム・ワイルドウォーター、パワーリフティング(公開競技))を開催する。国体に合わせて、全国障害者スポーツ大会・福井しあわせ元気大会(バレーボール(聴覚障害))を開催する。
課 題	選手が持つ全ての力を発揮できるような国体などの運営を行うことが求められている。市民一人一人がおもてなしの心を持って選手や役員、観戦者などを温かく迎え、交流が深まる魅力ある大会を目指し、本年開催予定のプレ大会とともに準備を進める必要がある。そのためには、国体などの成功に向けた機運を醸成し、市民や企業、関係団体などの協力を得て、全市的に取り組む必要がある。

社会情勢・市民ニーズの変化

- ・福井国体の成果を今後引継ぎ、国体で継続的に上位を目指すことのできる競技の育成のため、令和元年度に県において「新たなお家芸競技」育成支援事業が新設された。大野市の相撲競技がこの事業の対象とされ、選手育成や競技力向上が求められている。
- ・令和2年3月に第2次福井県スポーツ推進計画が策定され、国体・障スポのレガシー(県民のスポーツへの関心の高まり。競技力の向上等)を生かし、さらなるスポーツ振興やスポーツを通じた交流人口の拡大につなげるとしている。
- ・令和3年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が、8月に本県を中心に北信越で開催される。本市で自転車(ロード)競技が実施されるため、令和2年度から開催に向けた準備を進める。

現在の「現状」と「課題」

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・国体等を成功裏に終了させることができ、今後は国体等のレガシーを引き継いでいくため、継続して本市開催競技に関連した教室等を開催して、市民への普及を図っている。 ・インターハイ開催に向け、競技種目別委員会を立ち上げ、関係機関・団体等と連携して準備を進めることとしている。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・国体開催競技について、カヌー競技や自転車競技の定着は難しい面はあるが、カヌーや自転車に乗る機会を継続的に提供し、楽しさを伝えていく。相撲競技についてはジュニア世代の底辺拡大を図るとともに、中高生への継続した指導体制により競技力向上を図る必要がある。 ・インターハイでは交通規制を要するため、地元等の協力を求めていく必要がある。また、経費を極力抑えるよう検討が求められる。

基本施策の「成果」

成 果	<p>カヌーでは、九頭竜湖で小学生、親子、大人の部門ごとの体験教室や小学校等への出前講座を実施し楽しんでもらった。自転車では、「シバザクラ&黒谷観音八十八カ所を巡って健康づくり」と題したサイクリング教室で自転車に親しんでもらった。相撲では、日本相撲協会から親方・現役力士を招き、小学生を対象に相撲教室を実施し、相撲を基礎から学んでもらった。いずれも参加者から好評をいただき、これらの教室を通じて各競技への関心を高めることができた。</p>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

改善点

- ・若者等を対象に自転車の普及と交流の場の創出になるよう、サイクリングとアウトドアクッキング体験ができるイベントを計画している。
- ・2回目となる健康・食守フェスタは、場所をエキサイト広場から結とびあに変更し、昨年度に引き続き、市民に自身の健康状態や体力年齢を知ってもらい、健全な食生活や運動習慣の大切さを理解してもらうことで、日頃から健康づくりに取り組む意識付けの機会を提供する。